

Bird fab studio 株式会社

IT技術を利用し日本生地メーカーのグローバル戦略を図る

「アパレル」と「生地メーカー」をITプラットフォーム上でマッチングさせるシステム【KIZIARAI（キジアライ）】でグローバル戦略に向けたリモートワーク可能なシステムを構築する。

| | | | |
|----------------|--------------------------|-----------|---------------------------------------|
| ■ 代表者 | 上羽 英行 | ■ 所在地 | 〒625-0057 京都府舞鶴市南浜町7-2 |
| ■ 設立 (法人設立) | 2018年5月23日 2021年5月11日 | ■ TEL/FAX | TEL. 0773-63-7715 / FAX. 0773-63-7715 |
| ■ 資本金 | 10,000千円 | ■ URL | https://kiziarai.com |
| ■ 従業員数 | 4人 | ■ E-mail | h.ueba@bird-fab-studio.jp |
| ■ 業種 | その他の卸売業 | ■ 得意分野 | 生地メーカーとアパレルとのマッチング・ビジネス |

補助事業の目的、取組のきっかけ

◆「KIZIARAI」の由来

「KIZIARAI（キジアライ）」は、坂本龍馬の名言である「日本を今一度せんたくいたし申し候」に由来しています。日本の伝統的な生地流通を一新するという創業の想いを込めています。

◆生地流通の現状

生地メーカーは各地に存在し、独自性のある商品を産み出しています。国内生地メーカーは小規模事業者が多く、営業の人的資源がありません。したがって、営業力に欠け、「提供したい生地」と「欲しい生地」との間にミスマッチが生じています。生地メーカーが任意に直接販売あるいは商社への委託のどちらでも自らの意思で選ぶことができるような仕組みを創れば生地メーカーをはじめ業界にお役立ちできると考えました。日本の商流を欧米型に近づける取組みでもあります。

また、生地メーカーでは、サンプル生地など余剰生地の発生は避けられません。この廃棄処分生地の発生が、生地メーカーの経営の負担の一つになっています。全国の各生地産地の在庫情報の流通がなく、異産地間での生地在庫の有効活用ができていません。

◆補助事業の目指す先

現在の生地流通経路ではこれらの解決策を示すことが出来ません。そこで、これらの問題を解決するため、生地情報とアパレル情報が交わり、有効活用できるオンライン・プラットフォーム「KIZIARAI」を創りました。生地メーカーが繁栄し、生地産地が活性化され、国内外のアパレルと共に繊維業界の発展に寄与する情報共有化プラットフォーム「KIZIARAI」の構築を目指しました。

補助事業の取組内容

◆「KIZIARAI」の開発

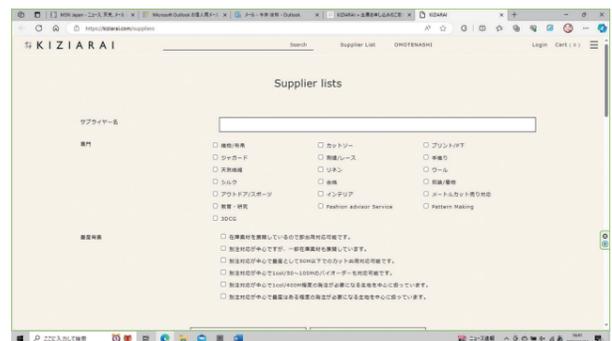
まず2018年の創業時に生地（テキスタイル）のオンライン展示場というべきプラットフォームを構築しました。この時期、クラウドファンディングで目標額を達成し、「KIZIARAI」の市場性のあることを明確にしました。

補助事業では、これを更に発展、進化させ、生地メーカーとアパレルが直接出会うプラットフォームを構築しました。プラットフォームでは次の機能を持たせました。

◆「KIZIARAI」の主な機能

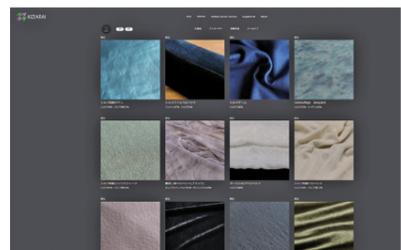
①サプライヤー（生地メーカー）検索機能

生地メーカーの専門性および量産背景を選択基準として、登録されているサプライヤーから最適事業者が選出されます。



②生地検索機能

生地の写真からと生地の素材種類、混率、機能加工など資質を絞り込み条件としてさらに深く最適生地を探せるように高機能化を図りました。



企業概要

繊維産業で日本の生地メーカーに国内はもとよりグローバルな展開を見据えた機会としてオンライン・プラットフォームを提供し、生地（テキスタイル）メーカーと国内外のアパレル（衣服）の出会いの場を設け、また生地メーカーの廃棄生地の情報を共有し、更に異産地協業を促進して業界の活性化を図っています。

主要取引先

生地メーカー アパレル 国内 65社 約 1,500社 (国内比率90%)

主な保有設備

オンライン・テキスタイル展示プラットフォーム【KIZIARAI】



③マッチング機能

「KIZIARAI」を介して、業務委託をしたい方、業務委託を受けたい方のマッチングサービス機能があります。小規模事業者、個人事業者がスポットで業務を依頼でき、受託できるシステムです。デザイナー、パタンナー、インフルエンサー、縫製事業者など個の高い技能を発揮できる環境を創造しています。

④その他の機能

- ・海外アパレル向け機能
英語サイトを設けました。海外アパレルの利便性が向上します。ChatGPTを採用しており、瞬時に翻訳が対応可能です。
- ・物流・決済機能
オンライン上で物流方法および決済条件等を決めることができます。
- ・アパレル検索機能
生地メーカーが自社の生地に興味を持つアパレル会社情報をチェックし、販路開拓の契機とすることができます。

補助事業の成果と今後の展開

◆「KIZIARAI」の発展と高機能化

「KIZIARAI」は常に進化を図っています。補助事業の成果は、未来への通過点という位置づけです。創業期から補助事業終了までが第一世代で、オンラインでのテキスタイル展示が中心でした。第二世代は、補助事業の成果が発揮でき、生地検索と生地メーカー検索を併せ持ち、物流決済機能、海外アパレル向け英語表記などの機能を付加して高機能化を図りました。これからの第三世代は、令和5年末から運用開始予定で、補助事業で得られた運用実績を基に一層の高機能化を図ります。その一つは、第三世代の「KIZIARAI」では、生地の質感をテクスチャー（画像）データと、生地の物性データを組み合わせて作成するデジタルの生地、すなわち「生

地データ」を組み込んでいます。“生地にデジタルの命”を吹き込んでいるのです。現在、約1万点の生地データを保管しています。保管する生地データ資料数は、オンライン取引を促進する上で重要要素であり、「KIZIARAI」の大きな特徴、強みです。



3D画像で生地の質感を表現

業界特有の同意語、類似語について、産学共同で開発したAI学習キーワード検索機能で識別が出来るようになり、アパレルから生地検索が的確に出来るようになります。

更に、「KIZIARAI」上でチャット機能を付加し、アパレルと生地メーカーとが直接会話することも可能になります。

◆「KIZIARAI」の市場性と将来

2018年、アパレル、生地メーカー共にお客様ゼロから始まった「KIZIARAI」ですが、1年後の補助事業開始時期には生地メーカー・アカウント約60と増えました。現在は、生地メーカーが65社、アパレルの登録数は1,650アカウントと増えています。また、生地データ資料数は1万を超え、海外からのバイヤー登録数も増加しています。

最新の「KIZIARAI」では、革新的なChat機能を付加しています。更に、参加する障壁が少ない費用対効果プランを設けたことにより、今後一気に「KIZIARAI」採用企業が増えると期待しています。